

平成27年度 唐津市財務諸表 概要版（現金主義の決算書から財務諸表3表への組み替え）

組み替え元				⇒		組み替え先				組み替え後（単位：百万円）			
										普通会計	単 体	連 結	
発生主義	歳入	未収金（税等の滞納分）		a	行政コスト計算書	経常費用	退職・賞与引当金など	b	549	836	846		
	歳出	退職・賞与引当金など		b			減価償却費等	c	3,359	4,011	4,018		
		減価償却費等		c			行政サービスに対する支出 注2：退職金等の一部支出額を除く	⑥	51,997	112,841	113,394		
		未払金など		d			公債費（利子の償還）	⑧	894	2,011	2,018		
							計		56,799	119,699	120,276		
				経常収益	使用料・手数料等の収入	①	3,112						
				純行政コスト（経常費用－経常収益）					53,687	119,699	120,276		
				【参考】行政コスト計算書の行政サービスに対する支出額から除いた額					561	0	0		
唐津市歳入歳出決算書 （現金主義）	歳入・歳出決算	歳入	使用料・手数料等の収入	①	資金収支計算書	経常的支出	行政サービスに対する支出	⑥	52,558	111,381	111,938		
			租税等の収入	②		経常的収入	使用料・手数料等の収入	①	2,943	39,147	39,630		
			資産の処分による収入	③			租税等の収入	②	55,049	84,477	84,478		
			市債の発行による収入	④		経常的収支区分（①＋②－⑥）	イ	5,434	12,243	12,170			
			注1：繰越金	⑤		資本的支出	資産形成に対する支出	⑦	9,270	14,263	14,263		
	歳入・歳出決算	歳出	行政サービスに対する支出	⑥		資本的収入	資産の処分による収入	③	2,356	2,356	2,356		
			資産形成に対する支出	⑦		資本的収支区分（③－⑦）	□	-6,914	-11,907	-11,907			
			公債費（元金・利子の償還）	⑧		基礎的財政収支（イ＋□）				-1,480	336	263	
			歳入－歳出＝形式収支			⑨	財務的支出	公債費（元金・利子の償還）	⑧	8,695	14,222	14,275	
			関するに 調書	財産		基金などの積立金等	⑩	財務的収入	市債の発行による収入	④	10,049	15,318	15,319
	土地（市道等の底地を除く）	⑪				財務的収支区分（④－⑧）	ハ	1,354	1,096	1,044			
	その他の 資産等	資産	市道・林道・河川等	e		貸借対照表	非金融資産	数量 ↓ 金額	資産 台帳	未収金（税等の滞納分）	a	708	5,305
リース資産			f	形式収支	⑨					1,612	1,131	1,131	
建設中の資産			g	基金などの積立金等	⑩					20,036	29,530	29,745	
市債の残高			h	土地（市道等の底地を除く）	⑪					57,903	59,194	59,194	
								建物等（市道等の工作物を除く）	⑫	52,142	57,694	58,347	
								市道・林道・河川等	e	189,548	261,438	261,438	
								リース資産（支払い済み）	f	1,196	5,997	6,005	
								建設中の資産【建設仮勘定】	g	236	283	283	
								資産 計			323,381	420,572	422,367
								負債	退職・賞与引当金など	b	13,659	14,133	10,726
									未払金など	d	838	5,574	5,658
									リース資産（未払い分）	f	1,217	13,402	13,403
									市債の残高	h	80,568	142,630	147,611
								負債 計			96,282	175,739	177,398
								純資産（資産－負債）			227,099	244,833	244,969

※ 発生主義の勘定科目は、実際に現金の出し入れはありませんが、決算時点で支払い義務等が発生しているものについて、合理的な計算方法で算出した金額を計上しています。

注1：繰越金は、前年度の形式収支額であり、前年度の貸借対照表の金融資産として計上しているため、組み替えの対象外となります。

注2：前年度の行政コスト計算書において、発生主義に基づき退職・賞与引当金として計上した額には、本年度実際に支出した退職金や賞与金の一部が含まれているため重複分を本年度支出額から控除しています。

※ 発生主義の勘定科目は、実際に現金の出し入れはありませんが、決算時点で支払い義務等が発生しているものについて、合理的な計算方法で算出した金額を計上しています。

注1：繰越金は、前年度の形式収支額であり、前年度の貸借対照表の金融資産として計上しているため、組み替えの対象外となります。

注2：前年度の行政コスト計算書において、発生主義に基づき退職・賞与引当金として計上した額には、本年度実際に支出した退職金や賞与金の一部が含まれているため重複分を本年度支出額から控除しています。